

授業科目名： 環境論Ⅱ	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：力石國男 担当形態：単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校 地理歴史）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 人文地理学・自然地理学		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>エネルギー資源の枯渇や新エネルギー開発の取り組みを理解することにより、日常生活におけるエネルギー消費のあり方を考えるようになります。忘れたころにやってくる自然災害に対する理解を深めて、災害に遭わない知識や災害を軽減する心構えを身につけます。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>私たちの生活に直結する原子力発電所事故、地震・津波災害、台風災害、豪雨災害、雪害、冷害、大気汚染に対する理解を深め、それらの発生メカニズムや対策について学びます。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ガイダンス（人類が出現してから現代までの歴史、現代社会が直面している諸問題）  第2回：エネルギー問題(1)（エネルギー消費量、エネルギー資源の埋蔵量、新エネルギーの展望）  第3回：エネルギー問題(2)（原子力エネルギー、原子力発電の原理、発電所の仕組み、原子力災害）  第4回：地震災害(1)（地震とは何か、地震発生のメカニズム、地震の多発地帯）  第5回：地震災害(2)（わが国の過去の地震災害、阪神淡路大震災、東日本大震災）  第6回：地震災害(3)（秋田の過去の地震災害、地震災害に対する備え）  第7回：津波災害(1)（津波とは何か、津波発生のメカニズム、津波の伝播と屈折）  第8回：津波災害(2)（沿岸での津波の増幅、津波災害の実態、秋田の津波災害）  第9回：台風災害(1)（台風とは何か、台風発生のメカニズム、台風の構造、台風の発生と進路）  第10回：台風災害(2)（台風による強風災害、豪雨災害、土砂災害）  第11回：豪雨災害（豪雨災害の形態、豪雨災害の事例、豪雨災害に対する地形の影響）  第12回：雪害(1)（雪国の宿命、日本はなぜ多雪国家か、豪雪の発生メカニズム）  第13回：雪害(2)（雪害の形態、秋田の雪害、雪害の時代的変遷）  第14回：冷害（冷害とは何か、冷害はなぜ発生するか、冷夏・冷害の歴史、地球温暖化と冷害）  第15回：大気汚染と健康（大気汚染物質、大気汚染の原因、大気汚染と気象、大気汚染と健康）</p> <p>定期試験</p>			
<p>テキスト</p> <p>テキストに替えて毎回4ページ程度の資料（講義概要と関連図表）を配布する。</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>自然地理学（第3版）、松原彰子著、慶應義塾大学出版会（2011）。  一般気象学（第2版）、小倉義光著、東京大学出版会（1999）</p>			

地震のすべてがわかる本、土井恵治監修、成美堂出版（2005）。

学生に対する評価

定期試験（80％）、学期の途中で数回提出する小レポート（20％）